

みんなで語り、伝えよう！ 都賀川物語

都賀川散策マップ

# 巡って学ぼう！

## 川の恵みとおそろしさ

都賀川の水の恵みによる水車産業  
や、災害のおそろしさを伝える痕跡  
などを巡って、私たちの街と都賀川  
との関係を考えよう！



### 散策マップについて

このマップは防災学習ゾーン「都賀川物語」  
のモデル散策マップです。裏面で各散策ポ  
イントに関する情報を紹介しています。

より詳しい情報を掲載した冊子や  
他の散策マップ、散策しながら学  
習できるサブノートなどの入手先  
は、六甲砂防事務所HPをご覧ください。



### 灘区の歴史の花は「菜の花」なんだよ！

都賀川の急な流れは、水車を回す大きな力を生み出  
し、古くから私たちの街の水車産業を発展させました。  
水車産業の一つに菜種油の油絞りがあります。灘区で  
は菜種油用の菜の花の栽培が盛んに行われていたことか  
ら、灘区民まちづくり会議において、「菜の花」が灘区  
の歴史の花に決まりました。

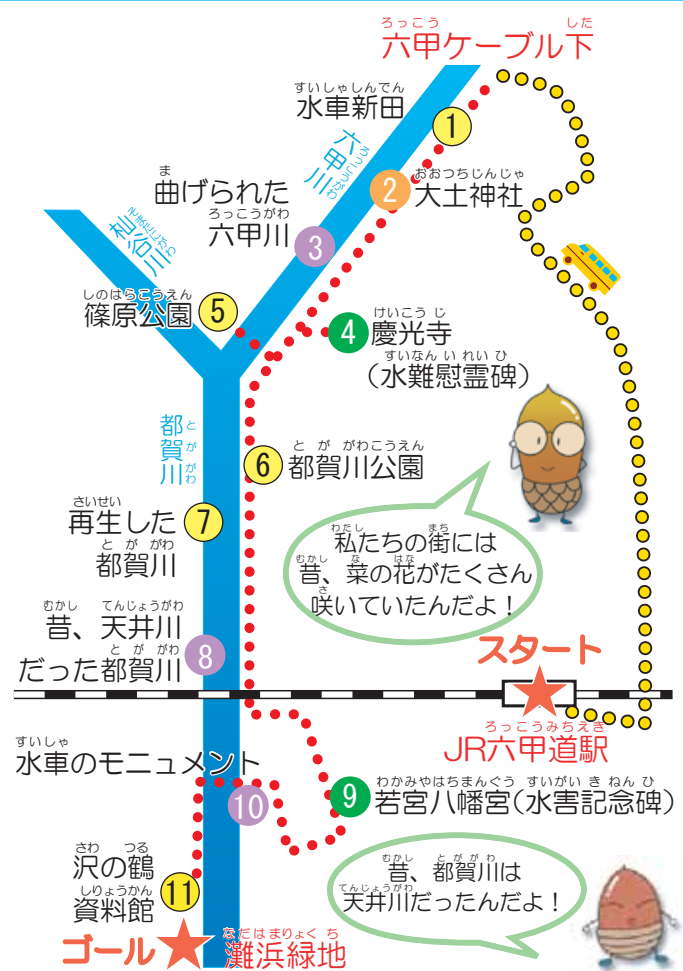
また、菜の花がたくさん植えられていたことは、与謝  
蕪村の俳句にも詠われています。



### マップの見方

- 【見学ポイント】
- 「不思議」に触れる見学ポイント
  - 「素晴らしさ」を知る見学ポイント
  - 「安全」を考える見学ポイント
  - 上記3つの内2つ以上共通する見学ポイント
- 【移動手段】
- 徒歩 (○分：矢印間の移動時間の目安)
  - バス
- 【その他】
- 駅
  - ≡ 鉄道
  - ℹ バス停
  - ✿ 菜の花
  - ⊗ 学校
  - 区役所
  - トイレ

### 散策ポイント



【問合わせ先】  
国土交通省 六甲砂防事務所  
住所：〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
電話：078-851-0535  
ホームページ：http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/



# 巡って学ぼう！川の恵みとおそろしさ (ポイントの紹介)

○実際に見学した箇所の口印にチェックをしよう！  
○口印横の数字は「冊子」の関連ページです。

## 水車新田

□ 24,36P

六甲川（都賀川上流）沿いの水車新田という村では、水流を利用した水車による油作りが盛んでした。川沿いに建ち並んだ水車が、油絞りや酒造用のお米の精米などに利用されていました。現在、水車は残っていませんが、地名がかつて水車のあった歴史を伝えています。



昔は水車がたくさんあったんだ！

## 慶光寺(水難慰霊碑)

□ 54P

昭和13年（1938年）の阪神大水害で、私たちの街は土砂に埋まり、六甲川中流の篠原地区では、死者は43名を数えました。亡くなった方々の慰霊碑が六甲川と杣谷川の合流地点に建てられ、翌年の昭和14年（1939年）、慶光寺に移されました。

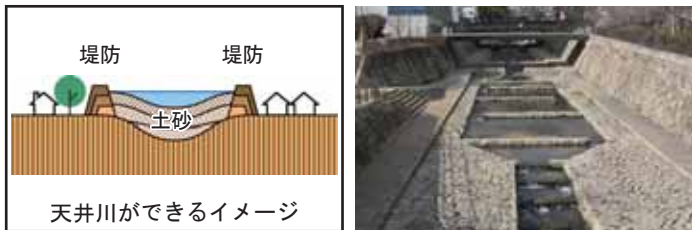


都賀川沿いではどのくらい被害がでたのかな？

## 昔は、天井川だった都賀川

□ 10,20P

大雨のたびに流れた大量の土砂が川底にたまり、浅くなった都賀川はあふれやすく、水害の多い川でした。そのため、土砂がたまるたびに堤防が高くされ、他の土地より川が高いところを流れる天井川となっていました。



どうして都賀川は、天井川になったの？

## 沢の鶴資料館

□ 24,25,41P

「沢の鶴」は、灘五郷の1つ「西郷」を代表する酒蔵です。「沢の鶴資料館」は、昔の酒蔵をそのまま利用した資料館で、酒造りの歴史を今に伝えています。



沢の鶴資料館で、昔の酒づくりの方法を調べてみよう！ 入館無料だよ！

## 大土神社

□ 36,41P

大土神社は寛延元年（1748年）に水車新田という村と油の海上輸送の安全を願って建てられました。境内には、「かえる石」があり、旅行などで出かける時に撫でてお願すると「無事かえる」といわれています。六甲山の登山者が、登山の前によく立ち寄っています。



水車新田にある大土神社は、「水車のお宮さん」なんだよ！

## 篠原公園・都賀川公園

□ 22,46,54P

都賀川沿いには、杣谷川と六甲川が合流する部分にあたる篠原公園と、その下流の都賀川公園という2つの公園があります。公園周辺は、阪神大水害で大きな被害を受けましたが、その後の整備により、私たちの街の憩いや交流の大切な場所となっています。



私たちの街は、かつて土砂に埋まったんだよ！

## 若宮八幡宮(水害記念碑)

□ 53,54P

若宮八幡宮にも、阪神大水害の「水害記念」の碑があります。神社のあるこの地域では、死者は出ていませんが、家の1階が埋まり、2階の窓から出入りしなければならぬほどの大量の土砂におそわれました。



水車で、どうやって精米したんだろう？

## 都賀川周辺での災害の歴史

六甲山地では、これまでに何度も災害が発生しています。なかでも、昭和13年（1938年）の阪神大水害と昭和42年（1967年）の災害は、大きな被害を出しています。

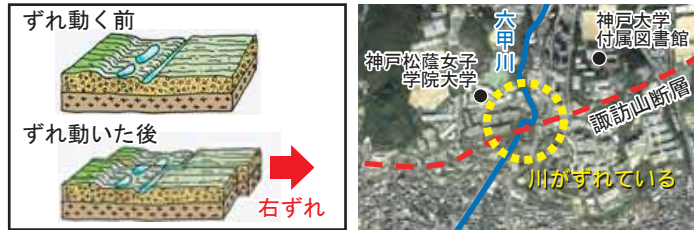


阪神大水害の様子

## 曲げられた六甲川

□ 13,15P

断層とは、地震などの強い力により、地面が割れて、ずれ動いてきた「地面の食い違い」をいいます。六甲川は諏訪山断層とぶつかったところで右に大きく曲がっています。これは、断層を境に北側が右方向に動いたため、このような断層を「右ずれ断層」といいます。



六甲川の流れはどうして変わったの？

## 再生した「都賀川」

□ 22,23,31,47P

昭和51年（1976年）以前の都賀川は、勝手に捨てられたゴミなどが川底にたまり、悪臭のひどい川でした。その後、「都賀川を守る会」を中心とした住民活動により、アユやカワムツ、オイカワ、カワヨシノボリなどが生息する川に戻りました。



都賀川の水はどのくらいきれいになったの？

## 水車のモニュメント

□ 24,25P

都賀川の下流、酒蔵地帯に水車のモニュメントがあります。これは、私たちの街に、かつてたくさんの水車があった歴史を伝えるために造られたものです。水車による精米は、灘の酒造りが発展したきっかけの1つとなりました。



水車で、どうやって精米したんだろう？

